

事業主体者 休暇村裏磐梯

住所 福島県耶麻郡北塩原村檜原

電話 0241-32-2421

URL <https://www.qkamura.or.jp/bandai/>

事業概要

「休暇村」は、日本国内の国立公園・国定公園など優れた自然環境の中にあるリゾートホテルで、全国37か所に設置され、地元食材を活かした料理や、地域の自然、文化、歴史など、その土地ならではの魅力に触れる場を提供している。

平成24年度に、アウトドア事業の強化を図ることを目的に、自然サービスモデル村を設置することになり、その後全国の休暇村の中からモデル村を選考した結果、休暇村裏磐梯がモデル村に選定され、サービス向上とブランド戦略に基づく知名度向上を図るため、休暇村本部と休暇村裏磐梯が一体となって事業に取り組むこととなった。

休暇村裏磐梯と周辺の民間事業者が協力して、バラエティー豊かな参加体験イベント「ふれあいプログラム」を提供している。

平成28年12月、本館ロビーに、地域のアウトドア体験を紹介する「森のカフェ」を設置。VRによる臨場感のある映像を制作し、見ってもらうことで地域のアウトドア体験を分かり易く伝え、「ふれあいプログラム」の参加者を増やすこととした。

VR映像はアクティビティを提供する周辺の観光事業者(カヌー、トレッキングなどのガイド)の協力により、撮影地の選定を行い、休暇村職員や観光事業者が撮影することでVR映像の制作コストの低減を図った。

映像制作会社に委託して、約5分から15分程度のコンテンツに編集。現在は、カヌー、トレッキング、サイクリングなど6種類のコンテンツを用意している。

ゴーグルは2種類あり、その内のひとつは、スマートフォンを利用するタイプ。QRコードを読み取り、コンテンツをダウンロードしてゴーグルにセットするとVR映像が見られる仕組み。

またデジタルサイネージを「森のカフェ」内に設置して、各種体験プログラムを検索し、休暇村のフロントで申込みができるようにしている。

休暇村裏磐梯は、地域のアウトドア観光関連事業者の中核ともいえる存在であり、「森のカフェ」は、アウトドアを楽しむための情報発信基地としての役割を担っている

効果や課題

VRやデジタルサイネージを活用したことでマスコミにも注目され、PR効果があった。新たなサービス提供により利用客からの評価が高まった。スマホ対応型VRゴーグルの視聴回数は、約2,000回。

「ふれあいプログラム」の参加者は、約6,500人(平成29年4月

～平成30年3月)に達し、平成27年度よりも約2割増加し、周辺のアウトドア関連事業者への送客に寄与している。

なお、VR映像については春・夏・秋に加え、今後、冬期用の映像制作を検討中である。

事業費

森のカフェ設置費:約800万円(その内、VR関連費用は約60万円)



スマートフォン対応型VRゴーグルと使用説明書
左上は、スタンドアロン型VRゴーグル

VRゴーグル画像(イメージ)



菅原湖カヌー体験



五色沼トレッキング



周辺の観光情報や体験プログラムを検索できるデジタルサイネージ

